

公共施設

更新・解体の考え方は

問 3年度から新「道の駅」や新小学校などのいわゆる箱物を建設していくようだが、集会施設を含め公共施設の更新はどのように考えているか。

復興企画課 総合計画後期基本計画上で予定しているものは、新道の駅の建設、大沢地区及び豊間根地区の集会施設の建設、第2分団・第7分団の屯所建設である。更新



建て替え予定の豊間根生活改善センター（上）と大沢地区のふるさとセンター（下）

の考え方は、利用状況を踏まえて古い施設の集約や解体など検討していく。

問 集約や解体のみではなく、改造して使うことも検討してはどうか。

復興企画課 地区ごとに集約、解体、改造のいずれの方法が最適か検討する。

町税減収見込み

回復する手立ては

問 固定資産税以外の町税は軒並み減収の見込みのようだが、回復する施策を考えているか。

復興企画課 3年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金約1億6000万円を投入し、事業者や商店街の活性化につながる事業を

実施していきたい。

問 コロナ禍の中で、町税を負担に感じている事業者などはいないか。

税務課 納税が難しい方については窓口で相談を受け付け、分納計画を一緒に考えるなど納税者に寄り添った対応をする。

デジタル掲示板設置

どこに設置予定か

問 デジタル掲示板設置工事の内容は。

総務課 これまで、防災行政無線や町のホームページで防災情報などの周知をしてきた。デジタル掲示板の設置により、さらなる情報の周知を図

るもの。

問 どこに設置予定か。

総務課 中央公園内に1基設置予定である。

問 1基では足りないのではないか。

総務課 効果を見ながら増やすことも考えたい。

仮設住宅用地

どのように返還するのか

問 仮設住宅用地は仮設住宅解体後、原形復旧をどの程度やって地権者に返すのか。元の状態が山林だった場合は難しいのではないか。

都市計画課 地権者と相談しながら進めており、意向に沿えるように行いたいと考えている。国や

県とも相談しているが、山林を元通りにすることは難しいため、県が示す計画で山林と認められる程度、例えば「黒土を入れ排水機能をつけたうえで植林」などといった方法で復旧し、返還したいと考えている。



浦の浜地区には108戸の応急仮設住宅がありました